

県立広島病院 診療参加型実習シラバス

産科/婦人科

【一般目標】

女性の健康を守る産婦人科医療のうち、特に当院で十分な研修が期待できる婦人科医療および周産期医療に関して実習を通じて知識、技術を学ぶことで、将来の臨床医として産婦人科疾患への理解を深めることを目標とする。

【到達目標】

外来実習；外来診察を適切に実施できる能力を養う。

- 1) 患者の心理を十分に理解して医療面接を行うことができる。
- 2) 婦人科一般の診察法および妊婦健診、異常妊娠の診察法を学ぶとともに、産婦人科における超音波診察法を理解する。

病棟実習；主治医と共に行動し、入院患者の病態、心理などを正確に把握し、適切な医療が行えるよう基礎知識と技術を養う。

- 1) 担当患者に対して、適切な検査と治療計画をたてることができる。
- 2) 分娩経過を観察し正常な分娩経過を理解する。また、正常な新生児の取扱いを理解することができる。

手術室実習；産科および婦人科の手術手技について理解を深める。

- 1) 骨盤内臓器の解剖学、生理学から産婦人科疾患の病態を理解し、術前、術後の管理計画をたてることができる。
- 2) 開腹手術（含む帝王切開術）、膣式手術、内視鏡手術を理解し、病状に適した手術手技を選択できる。
- 3) 手術に参加し、基本的手技を習得する。

【実習の内容】

- 1) 実習初日にポートフォリオを配布するので、実習内容や疑問点などを経時的に詳細に記録すること。また、疑問点に関する指導医からの指導内容や自己研修の内容なども適時追記すること。
- 2) 実習期間中は原則として主たる指導医と行動を共にすること。ただし、興味深い症例やまれな疾患などの際には、主たる指導医の指示により他の指導医と行動を共にして、その症例の経過を観察し病態を理解すること。
- 3) 主たる指導医の指示のもとで選択された症例についてカンファレンスでのプレゼンテーションを行うとともに、検討すべき内容などについて事前に論点を整理すること。

【週間スケジュール】

外来実習；月曜日から金曜日まで毎日、午前

手術室実習；月曜日；午後。火曜日；午前、午後。水曜日；午前、午後。金曜日；午後

その他、1週間あたり2-4例の緊急手術（主に帝王切開術）が予想される。

産婦人科カンファレンス；木曜日 15時から17時まで

周産期カンファレンス（新生児科との合同カンファレンス）；金曜日 8時から8時30分まで

病棟実習；主たる指導医の担当時間に行う

【評価】

指導医による学生の行動内容の評価	40 点
ポートフォリオの内容	20 点
カンファレンスの内容	20 点
主任部長による手術実習の評価	20 点